

歌当てクイズ（1960年代青春歌謡ヒット曲）

景品は、今年の1月に101歳で他界した詩人の柴田トヨさんのDVDです。

このDVDは無料の画像と無料のBGMを使い、テキストを1つ1つDVDに書き込んで作成しました。厳格に言えば違法ですが、個人的なものとして配布します。

- 1 「青春の城下町」 梶光夫（現在68歳）（流している）
S20年3月大阪生まれ、現在68歳で、デビュー曲は「黒髪」、この曲でヒットした。他に「可愛いあの娘」「我が愛を星に祈りて」などがある。
S45年に引退し、現在は、宝石デザイナーで宝石鑑定士でしている。
- 2 「若草の丘」 本間千代子
S20年1月疎開先の長野県で生まれ、東京育ちで、現在68歳
児童合唱団に所属し童謡歌手から東映映画の多くに出演し、
S41年に歌手の守屋浩と結婚したが、その後離婚、
現在は、全国の地域FMラジオ局で、夫とディスクジョッキーで活躍している。
- 3 「若いふたり」 北原謙二
S14年10月大阪で生まれ、ジャズ喫茶で歌っていたところをスカウトされ上京し、22歳の時に歌手デビューした。
H3年の62歳の時に脳出血で倒れ、半身麻痺と闘いながら、3年後に歌手復帰して、全国の福祉施設の慰問活動をしていたが、H17年に心疾患のため66歳で他界した。
- 4 「17歳は一度だけ」 高田美和
S22年1月京都で生まれ、父親は、時代劇大スターの高田浩吉 現在66歳
高校一年の時に大映に入り、多くの映画に出演してた。
歌舞伎俳優の片岡秀太郎(ヒデタロウ)氏と結婚したが離婚し、その後も時々歌謡コンサートなどに出演している。
- 5 「ああ青春の胸の血は」 舟木一夫
S19年12月愛知県で生まれ、橋幸夫、西郷輝彦とともに「五三家」と呼ばれて、学園ソングを始めとして多くのヒット曲を出している。現在68歳
高校生の時に、「松島アキラ」が歌っていたステージに飛び入り参加したのがきっかけで、週刊明星の記者にスカウトされ、17歳でデビューし、現在でも高齢者のファンが多いそうです。

6 「リンゴの花咲く町」 高石かつ枝

S 21年7月に横須賀市で生まれ、幼少の頃に童謡歌手としてデビューし、16歳から20歳位まで歌手活動をしており、一度歌手を休止し、その後再デビューしたが売れなかった。現在67歳

23歳の時に民間会社の御曹司と結婚し芸能界を引退したが、今でも、時々CDを発売したり芸能活動をしているそうです。

7 「潮風を待つ少女」 安達 明 (潮風を待つ少女)

S 23年9月北九州で生まれ、16歳の時にこの曲でデビュー、2作目の「女学生」などがヒットしたが、人気絶好調の際に、デビューから3年で引退した。

引退後は、銀座のスナックなどで歌っており、たまにはテレビ出演して歌を披露していたが、一昨年(平成)23年5月に62歳で他界した。

8 「青春通り」 酒井和歌子 (現在65歳)

S 23年4月、栃木県で生まれ東京育ち、小学校の頃から劇団に入り、S 36年12歳でデビューした。若いころは清純派女優として数多くの映画に出演した。

現在も独身らしく、数は少なくなりましたが、映画、テレビに出演している。

9 「たそがれの赤い月」 ジュディ・オング (現在63歳)

S 25年1月台湾生まれ、2歳の時に父の仕事の関係で来日した。

11歳の時に映画デビューし、17歳の時に、この曲がヒットした。

版画家としても数々の賞を受賞して有名で、いろいろな分野で活躍している。

また、語学が得意で、台湾語のほか、日本語、英語、中国語、スペイン語の5各国を話せる。

結婚は一度、古美術商の方と結婚したが、直ぐ離婚したらしいです。

10 「涙の谷間に太陽を」 島倉千代子

S 13年3月、東京の品川で生まれ、先日75歳の人生を閉じました。

7歳の時、疎開中、水を運んでいて転倒、左手首から肘までを損傷して動かすことができなくなった。

小児麻痺の姉がかなわなかった代わりに、16歳の時、歌手デビューした。

25歳の時、阪神タイガースの藤本選手と結婚したが、その後離婚した。

その後、多くの保証人の借金を背負い苦労していた。

ご冥福をお祈りいたします。

11 「星空に両手を」 島倉千代子 守屋浩